

いじめ問題に取り組む中学生たち ～中学生の主張大会～

平成26年1月18日、メイシアター中ホールで「中学生の主張大会」が行われました。

「主張大会」の始めに「いじめ根絶に向けての8校の取り組み紹介」が山田中学校生徒の司会のもと行われました。

意見箱・アンケートからの生徒の声を集め、生徒会新聞やクラスの話し合いで、いじめを許さない学校作りを考えている例。演劇部がいじめをテーマにした劇を発表したり、人権標語や人権カレンダー、いじめ撲滅川柳を作成している例。

生徒会がいじめの原因を考え「原因を見つける」「いじめられた人の心を支える」「人に流されず人の良いところを見つける」の3点を大事にしていこうとした例。「誰もが楽しめる学校づくり」「居心地のよい学校づくり」を目標とし、目安箱や「ホットライン」を設け相談受付をしている例。生徒が地区集会所に出かけて地域の人々との交流などを行い、温かい雰囲気づくりを行っている例。



そのほかにも様々な紹介があり、「いじめ」問題を真剣に考え、様々な方法で対応策を考えている今の中学生の前向きな姿が浮かび上がってきました。

続いての「主張大会」でも「いじめ」をはじめ「命・友・平和・原発・復興・政治・その他社会問題」など幅広いテーマで市内18中学校の代表18人が発表しました。それぞれ自分の言葉で考えた主張ばかりで、私達大人もこの中学生のように深く考えることをしているのだからと反省させられた「主張大会」でした。



協力企業部会の取り組み

人権協には市内の約70の企業が参加する「協力企業部会」があり、人権協のイベントへの参加や、企業向け「人権啓発研修会」を行っています。25年度4月には、主に新入社員等を対象に『「企業と人権」～差別意識～予断と偏見から学ぶ』と題し、株式会社ダイエー人事担当部長の安藤正彦さんの講演が行われました。自分が気づかぬうちに偏見や差別に繋がっていくプロセスや職場のハラスメントについて分かりやすく説明されました。6月には『「企業と人権」明るく元気のでる職場づくり』と題し、大阪同和・人権問題企業連絡会前理事長の大西英雄さんの講演が行われました。各企業が消費者や地域社会との関係、従業員の労働環境を人権の視点で配慮することが、職場の活性化、業務の効率化、企業イメージの向上、優秀な人材の獲得などに繋がり、結果として企業の社会的価値が上がると話されました。いずれも、企業で働くひとり一人が人権について考えていくことの大切さについての講演でした。



吹田市 権協だよ



No. 36

平成26年(2014年)4月

—2014— 憲法と市民のつどい

人権協では、市民一人ひとりの人権意識の高揚を図り、ちがいを認めあい、共に生きることのできる社会をめざし、毎年5月に「憲法と市民のつどい」を実施しています。

今回は、「教育とは共に育ちあうこと」をキーワードに、不登校などの課題を抱えた子ども達と関わり、また、地域における関わりをつなぐ活動を実践されている今村克彦さんに講演いただきます。

さらに、その活動の成果として、全国の「よさこいソーラン」の頂点にたち、いまやジャンルにとらわれない独自のダンスを行う「関西京都今村組」のライブも行われますので、皆様方の参加をお待ちしております。



◆日時 **5/24 (土)**
13:30～16:00
(開場 13:00)

◆場所 **メイシアター 中ホール**
(阪急吹田駅前)

入場無料 ◆ 手話通訳あり

「ホンマの子ども見たってや」



共育者・元小学校教諭・関西京都今村組主宰

講師: **今村 克彦 さん**

出演: **関西京都今村組(ダンスチーム)**

地区委員会代表研修会

平成26年2月1日(土) メイシアター集会室

今年度の代表研修会は、役員、各地区委員会の代表・副代表と人権擁護委員7名の参加があり、合計51名で行いました。

各地区で起こりうる、人権問題の具体的な例題をテキストにし、8グループに分かれ討論しました。さらに全体で各グループの話した内容や、例題の解決策等を発表し、質疑応答も行いました。

初めての試みだったのですが、活発に意見が飛び交い、質問も多く出されました。人権問題が起こった時、誰が対応し、どのようなことができるか、またそのあと繋げる窓口はどこか等、有意義な研修会となりました。



人権協地区委員会活動の紹介

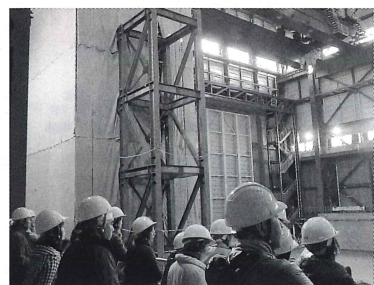
初めて行った現地研修会場や国際交流活動の紹介です。

兵庫耐震工学研究センター

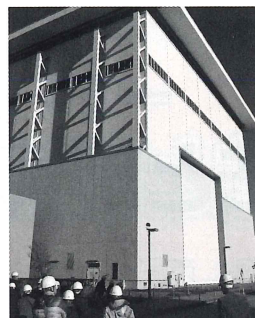
平成25年11月26日に人権協江坂大池地区の現地研修として三木市の兵庫耐震工学研究センターへ26名で見学に行きました。

この日は天気もよく、始めに映像で地震に対する実験の説明があり、次に巨大な建物を見学しました。この建物はビルなどの構造物を震動させて倒壊のデータをとるという実験施設ですが、まだ中身のないその器(建物)を見てそれが世界一の規模と聞き感心しました。

この辺りは防災の避難地として広い地域が確保されています。先の



阪神・淡路大震災の被害もあり「大地震による構造物被害軽減にいかに関与するか」について、2005年4月からこの「三次元震動破壊実験施設(Eーディフェンス)」で研究されています。テレビニュースや12月12日の読売新聞等にも載りさらに身近に感じながら、改めて社会の中で支えられていると思いました。(江坂大池地区委員会 由谷 雅彦さん)



中国文化を楽しもう

- 平成25年11月30日(土)14:00より
- 豊一地区市民センター

関西日中平和友好会と人権協豊一地区の共催で、大阪成美高校の中国からの留学生数名にて、中国獅子舞、中国龍踊り、民族舞踊、民族音楽等の披露をいただきました。成美高校の中国の生徒達は韓先生のもと毎年、日中友好会、各種団体の新年会、忘年会及びパーティ等に参加・協力してくれます。特に3年生が卒業した後には、新1年生を含む、新メンバーで練習不足にもかかわらず、歌も踊りも多く披露してくれます。これからも二胡等、楽器の演奏、また新しいものに挑戦して卒業まで元気一杯、私達を楽しませてくれる事と思います。日中関係も民間団体、学生たちの交流と共に、今後共続く事を願い、よろしくお願い致します。(豊一地区委員会 清瀬 孝史さん)



あなたも人権啓発推進委員になりませんか!

人権啓発を目的に、各地区でいろいろな活動が行われています。あなたも人権啓発推進委員になって、一緒に活動しませんか。…下記の人権協事務局までお問い合わせください。…

吹田市人権啓発推進協議会 事務局：吹田市 人権文化部 人権平和室内 〒564-8550 吹田市泉町1-3-40
電話 06-6384-1539 FAX 06-6368-7345
E-mail suitajinken@wi.kualnet.jp

あつまれ! みんなの声

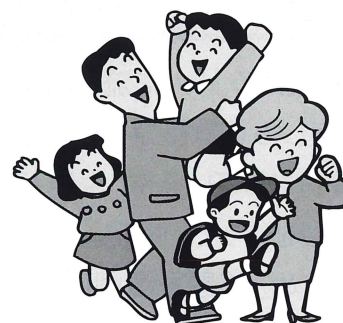
「子どもたちの明るい未来のために」

子どもたちの楽しそうな会話に温かい春の訪れを感じる季節になりました。

吹田市PTA協議会は、吹田市内の公立69校園(幼稚園16園、小学校35校、中学校18校)の連携や協調をはかり、様々な活動に取り組んでいます。

また近隣の市町村のPTAの方々と情報の交換、福島県のPTAの方を招いて震災時の話を伺ったり等、市内だけでなく広く交流の場を大切にしています。

今年度のスローガンである



「親と子のつながり～育もう子どもたちの笑顔と思いやりの心～」のように私たち親が心の触れ合う家庭をつくり、子どもたちと信頼関係を築き、子どもたちと向き合って笑顔と思いやりの心を持つ子どもたちを育めるようなPTA活動をしていくために、「人と人とのつながりを大切に」私たち大人がまず笑顔と思いやりの心を大切に、学校・地域・保護者が仲よく手をつなぎ、よりよい環境を築いていきたいと思えます。 人権協会計(吹田市PTA協議会副会長) 久米 さゆり

人権施策審議会について

最近、電車の各駅にエスカレーターやエレベーターが設置され、身体に障がいをもつ方や、高齢で足の不自由な方々に喜ばれています。たしかに、ハード面では以前に比べてよくなってきているように見えますが、身体障がい者用の駐車スペースに平気で駐車する健常者が少なからず見受けられますし、身体障がい者用のトイレにも同じことがいえます。私自身無意識で、カバンをホームの点字ブロックの上に置いていて、気がついてあわてて荷物を移動させることがあります。

確かに、常時、障がいをもつ人がこられて専用駐車スペースが使われているわけではありません。空いていれば有効に利用してもよいではないかという理屈をいう人もいるでしょう。でも、実際に障がいをもつ人が必要になった時使えなかったらどうでしょう。健常者以上に困られることでしょうか。

私たち一人ひとりが、ソフト面におけるバリアフリー、いわば心のバリアフリーを目指す必要があるのではないのでしょうか。

これから進められる吹田市人権施策審議会においても、そういった観点から審議に参加できればいいなと考えております。 人権協副会長(吹田市人権施策審議会委員) 村田 紘一

じんけんカルタをつくります。募集中

身近な遊びを通して人権意識の向上・人権啓発の推進を図るために「じんけんカルタ」を作成し、「読み札」を市民、市内小中学校の児童・生徒の皆様から募集することになりました。

皆様も奮って応募してください。

(詳しくは人権啓発推進協議会事務局まで)

